株式会社朝日ラバー
https://www.asahi-rubber.co.jp/
〒330 - 0801 埼玉県さいたま市大宮区土手町二丁目 7 番 2
TEL:048-650-6051　FAX:048-650-5201

PRESS RELEASE

2026 年 11 月 20 日

中国子会社（東莞朝日）の新工場賃貸借契約を締結
～生産能力拡充と自動化・省人化を推進～

株式会社朝日ラバー（本社：埼玉県さいたま市、代表取締役社長：渡邉 陽一郎、以下「当社」）は、生産工場を保有する中国の連結子会社である東莞朝日精密橡胶制品有限公司（以下「東莞朝日」）において、新工場（賃貸物件）の賃貸借契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。

今回の新工場確保により、東莞朝日では、グループの第 15 次中期経営計画に掲げる成長戦略に連動し、既存の自動車向け精密ゴム製品の増産対応にとどまらず、徹底した自動化・省人化への移行によるコスト競争力強化、ならびに将来的に自動車分野以外への事業領域拡大を推進してまいります。

■ 本件のポイント

1. 生産能力の拡充と拠点最適化
新工場（総面積 5,400 ㎡）を確保し、現有工場（本社工場と第二工場）の生産・保管スペースを大幅拡張。将来的に現第二工場を統合・閉鎖することで拠点集約と固定費削減を図ります。

2. 自動化・省人化による収益構造改革
人に頼る製造工程から脱却し、積極的に自動化設備を導入して生産性と品質を向上させます。

3. 第 15 次中期経営計画への寄与
当社グループ連結「売上高 100 億円・営業利益率 5%以上」の達成に向け、東莞朝日の中期目標（2030 年売上高 1 億元・営業利益 500 万元）の達成を目指します。

■ 新工場賃借の背景と目的

当社グループは、2031 年 3 月期を最終年度とする 5 ヵ年の「第 15 次中期経営計画」において、現地になくてはならぬ企業を目指し、海外事業の基盤強化を進めています。

東莞朝日は 2010 年の設立以来、自動車用精密ゴム製品を供給し、業績を拡大させてまいりました。しかしながら、現有の工場は年間生産能力の上限（本社工場と隣接の第二工場をあわせて生産エリアの面積約 4,000 ㎡）に近づき、保管スペースの不足から通路への製品滞留が生じるなど、安全面・物流面での改善が急務でした。また、東莞市における最低賃金の上昇に伴う人件費高騰に対応するため、従来の労働集約型から脱却した高効率な生産体制の構築が求められていました。

こうした課題を解決し、主要顧客からの新規案件に確実に応えるとともに、将来の成長分野への参入基盤を確立するため、新工場の賃貸借契約を決定いたしました。



新工場外観



新工場内観

■ 今後の見通しとステークホルダーの皆様へ

新工場は内装工事と設備搬入を整え、2027 年度後半の稼働を予定しています。

東莞朝日は従来のものづくりからの変革を加速させ、人件費上昇や価格競争に左右されない強固な収益体質を築いてまいります。既存事業の拡大に加えて、中国現地での高付加価値製品・複合製品の新規顧客開拓と開発設計機能を強化するため開発部門を設け、事業展開を拡大させていくことで、2030 年に中期目標の売上高 1 億元・営業利益 500 万元の達成を目指し、当社グループ連結「売上高 100 億円・営業利益率 5%以上」の達成に向けて貢献してまいります。

なお、本件に伴う当社 2027 年 3 月期の連結業績に与える影響は軽微ですが、中長期的な収益基盤強化に大きく資するものと考えております。

■ 会社概要

株式会社朝日ラバー

所在地：埼玉県さいたま市大宮区土手町二丁目 7 番 2
代表者：代表取締役社長 渡邉 陽一郎
創業：1970 年 5 月
上場市場：東京証券取引所 スタンダード市場（証券コード：5162）
事業内容：工業用ゴム製品、医療用ゴム製品等の製造・販売

東莞朝日精密橡胶制品有限公司

所在地：広東省東莞市横瀝鎮西聚路 1 号 5 号楼 101 室
代表者：董事長兼総経理 小林 由幸
設立：2010 年 6 月
事業内容：工業用ゴム製品の製造・販売
2025 年度売上高：58,823 千元（1,228 百万円）

以上

本リリースに関する問い合わせ先

株式会社朝日ラバー　管理本部経営企画部

TEL　：048-650-6056

e-mail：ir-mail@asahi-rubber.co.jp

担当　：久保田 080-5374-6051 ｜ 北澤 080-5376-6051